PCT

## 国際調査報告

(法8条、法施行規則第40、41条) [PCT18条、PCT規則43、44]

| 出願人又は代理人<br>の書類記号 P10000448              | 今後の手続きについては、様式PCT/ISA/220<br>及び下記5を参照すること。 |  |  |
|--|--|--|--|
| 国際出願番号<br>PCT/JP2004/003680              | 国際出願日<br>(日.月.年) 18.03.2004                | 優先日<br>(日.月.年) 18.03.2003                              |  |
| 出願人 (氏名又は名称)<br>学校法人 慶應義塾                |  |  |  |
|  |  |  |  |
| 国際調査機関が作成したこの国際調査報<br>この写しは国際事務局にも送付される。 |  | e) の規定に従い出願人に送付する。                                     |  |
| この国際調査報告は、全部で 4.                         | <b>_ページである。</b>                            |  |  |
| □ この調査報告に引用された先行技                        | 術文献の写しも添付されている。                            |  |  |
|  | まか、この国際出願がされたものに基づ<br>された国際出願の翻訳文に基づき国際    |  |  |
| b. この国際出願は、ヌクレオラ                         | チド又はアミノ酸配列を含んでいる(第                         | SI欄参照)。  |  |
| 2. ※ 請求の範囲の一部の調査がつ                       | できない(第Ⅱ欄参照)。                               |  |  |
| 3. 第明の単一性が欠如している                         | 5(第Ⅲ欄参照)。                                  |  |  |
| 4. 発明の名称は ※ 出願/                          | しが提出したものを承認する。                             | . ·  |  |
| □ 次にえ                                    | 示すように国際調査機関が作成した。                          | ·  |  |
|  |  |  |  |
| 5. 要約は 🗵 出願力                             | しが提出したものを承認する。                             |  |  |
| 国際調                                      |  | 547条(PCT規則38.2(b))の規定により<br> 際調査報告の発送の日から1カ月以内にこ<br>る。 |  |
|  |  |  |  |
| 6. 図面に関して<br>  a. 要約書とともに公表される図は、        |  |  |  |
| <u> </u>                                 | 願人が示したとおりである。                              |  |  |
|  |  |  |  |
|  | 願人は図を示さなかったので、国際調3                         | を機関が選択した。  |  |
| □ 本                                      | 図は発明の特徴を一層よく表しているの                         | ので、国際調査機関が選択した。  |  |
| b. 区 要約とともに公表される図6                       | はない。                                       |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

様式PCT/ISA/210 (第1ページ) (2004年1月)

| 第Ⅱ欄 請求の範囲の一部の調査ができないときの意見(第1ページの2の続き)   |
|---|
| 法第8条第3項 (PCT17条(2)(a)) の規定により、この国際調査報告は次の理由により請求の範囲の一部について作成しなかった。              |
| 1. × 請求の範囲 <u>19-20</u> は、この国際調査機関が調査をすることを要しない対象に係るものである。<br>つまり、              |
| 前記請求の範囲に記載された発明は、人の身体の手術又は治療による処置方法に係る<br>発明であるから、国際調査をすることを要しないものである。          |
|   |
| 2. □ 請求の範囲は、有意義な国際調査をすることができる程度まで所定の要件を満たしていない国際出願の部分に係るものである。つまり、              |
|   |
|   |
| 3. □ 請求の範囲は、従属請求の範囲であってPCT規則6.4(a)の第2文及び第3文の規定に<br>従って記載されていない。                 |
|   |
| 第Ⅲ欄 発明の単一性が欠如しているときの意見(第1ページの3の続き)  |
| 次に述べるようにこの国際出願に二以上の発明があるとこの国際調査機関は認めた。  |
| 次に近へるようにこの国际山横に一以上の光明かめるとこの国际神生機関は認めた。  |
|   |
|   |
|   |
|   |
|   |
|   |
|   |
|   |
|   |
| 1. 出願人が必要な追加調査手数料をすべて期間内に納付したので、この国際調査報告は、すべての調査可能な請求<br>の範囲について作成した。           |
| 2. □ 追加調査手数料を要求するまでもなく、すべての調査可能な請求の範囲について調査することができたので、追<br>加調査手数料の納付を求めなかった。    |
|   |
| 3. 出願人が必要な追加調査手数料を一部のみしか期間内に納付しなかったので、この国際調査報告は、手数料の納付のあった次の請求の範囲のみについて作成した。    |
|   |
|   |
|   |
| 4. Ш風人が必要な追加調査手数料を期間内に納付しなかったので、この国際調査報告は、請求の範囲の最初に記載されている発明に係る次の請求の範囲について作成した。 |
|   |
|   |
|   |
| 追加調査手数料の異議の申立てに関する注意  |
| 追加調査子数科の英識の中立 Cに関する注意<br>□ 追加調査手数料の納付と共に出願人から異議申立てがあった。                         |
| □ 追加調査手数料の納付と共に出願人から異議申立てがなかった。   |
|   |

| A. 発明の          | 属する分野の分類(国際特許分類(IPC))                      |                                    |                    |
|-----------------|--|------------------------------------|--------------------|
| Int. Cl         | 7 C12N5/06, C12N5/08, A61K35/12            |                                    |                    |
|                 |  |                                    |                    |
|                 | テった分野<br>最小限資料(国際特許分類(IPC))                |                                    |                    |
|                 |  | :                                  |                    |
| Int. Cl         | 7 C12N5/06, C12N5/08, A61K35/12            |                                    | ٠.                 |
| 最小限資料以外         | <b>外の資料で調査を行った分野に含まれるもの</b>                |                                    |                    |
|                 |  |                                    |                    |
|                 |  | •                                  |                    |
|                 |  |                                    |                    |
| 国際調査で使用         | 用した電子データベース(データベースの名称、                     | 調査に使用した用語)                         |                    |
| BIOSIS          | /WPI(DIALOG), MEDLINE(STN), JSTPlus/JST758 | 0(J0IS)                            |                    |
|                 |  |                                    |                    |
|                 | ると認められる文献                                  |                                    | 関連する               |
| 引用文献の<br>カテゴリー* | 引用文献名 及び一部の箇所が関連すると                        | ときは、その関連する箇所の表示                    | 関連する<br>請求の範囲の番号   |
| Х               | Zhao Y, et al., A human periphera          | al blood monocyte-derived          | 1-18               |
|                 | subset acts as pluripotent stem of         |                                    | ·                  |
|                 | Proc Natl Acad Sci U S A, 2003 Ma          |                                    |                    |
| -               | pp. 2426-2431                              |                                    |                    |
|                 |  |                                    |                    |
| A               | Schmeisser A, et al., Monocytes o          |                                    | 1-18               |
|                 | macrophagocytic lineage markers a          |                                    |                    |
|                 | structures in Matrigel under angi          | _                                  |                    |
| ·               | Cardiovasc Res, 2001, Vol. 49, No.         | 3, pp. 671–680                     |                    |
|                 |  |                                    |                    |
| C C ATT C CT    | )  | □ .º=>.1 → ->11. J=HH-ZD           | (红土, 去四            |
| 区欄の続き           | きにも文献が列挙されている。                             | パテントファミリーに関する別                     | 一一一                |
| * 引用文献(         |  | の日の後に公表された文献                       |                    |
|                 | 車のある文献ではなく、一般的技術水準を示す                      | 「T」国際出願日又は優先日後に公表                  |                    |
| もの<br>「正」国際出場   | <b>顔日前の出願または特許であるが、国際出願日</b>               | 出願と矛盾するものではなく、§<br>の理解のために引用するもの   | 的の原理文は座画           |
|                 | 公表されたもの                                    | 「X」特に関連のある文献であって、                  | 当該文献のみで発明          |
| 「L」優先権          | 主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行                      | の新規性又は進歩性がないと考え                    |                    |
|                 | くは他の特別な理由を確立するために引用する                      | 「Y」特に関連のある文献であって、                  |                    |
|                 | 理由を付す)<br>よる開示、使用、展示等に言及する文献               | 上の文献との、当業者にとって<br>よって進歩性がないと考えられる。 |                    |
|                 | 質日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願                      | 「&」同一パテントファミリー文献                   | 5 0 4 5            |
| 国際調査を完          | 71. <i>†</i> -8                            | 国際調査報告の発送日 1. 5. 20                |                    |
| 四か桝耳で元          | 15.04.2004                                 | 1. 0. 20                           | U <b>4</b>         |
|                 | の名称及びあて先                                   | 特許庁審査官(権限のある職員)                    | 4 B 2 9 3 6        |
|                 | 国特許庁(ISA/JP)                               | 七條 里美                              |                    |
|                 | 郵便番号100-8915<br>邯千代田区霞が関三丁目4番3号            | <br>  電話番号                         | 内線 3448            |
| 果以              | 即117日で段が対し1日4年3万                           |                                    | 1 1/1/15 3 44 44 0 |

| C (続き)<br>引用文献の | 関連すると認められる文献  | 関連する     |
|-----------------|---|----------|
| カテゴリー*          | 引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示   | 請求の範囲の番号 |
| A<br>A          | Fernandez Pujol B, et al., Endothelial-like cells derived fr<br>om human CD14 positive monocytes, Differentiation, 2000,<br>Vol. 65, No. 5, pp. 287-300<br>Heinemann DE, et al., Alkaline phosphatase expression during | 1-18     |
|                 | monocyte differentiation. Overlapping markers as a link between monocytic cells, dendritic cells, osteoclasts and osteoblasts, Immunobiology, 2000, Vol. 202, No. 1, pp. 68-81  | · · ·    |
| РХ              | Kuwana, M. et al., Human circulating CD14+ monocytes as a source of progenitors that exhibit mesenchymal cell differentiation, J Leukoc Biol, 2003 Nov, Vol. 74, No. 5, pp. 833-845                                     | 1-18     |
|                 |   | ·        |
|                 |   | ·        |
|                 |   |          |
| -               |   |          |
|                 |   |          |
|                 |   |          |
|                 |   |          |
|                 |   |          |
|                 |   |          |
| · .             |   |          |
|                 |   |          |
|                 |   |          |
|                 |   |          |
| · . ·           |   |          |
|                 |   | ·        |
|                 |   |          |